

○おかげさま

「ご家族の皆さんはお元気ですか」

「ええ、おかげさまで」

日常生活の中では、こうして「おかげさま」という言葉が挨拶のように用いられることもあるでしょう。

しかし、儀礼的な意味合いを越えて「おかげさま」という言葉について考えてみると、どんなことに気付くのでしょうか。



「おかげさま」の「陰（かげ）」には「人目の届かない、隠れたところ」という意味があります。私たちが「おかげさま」という言葉を使うときは、見えないところで自分を支えてくれている何ものかに対する感謝の思いが根底にあるのではないのでしょうか。それは、具体的に「ある人がこんなことをしてくれた」と言えるようなことというよりは、すでに私たちの日常に溶け込んでいて、その恩恵を受けられなくなった時に初めて事の重大さに気付くことであるのかもしれない。

暮らしを支えるライフラインのようにいつも身の回りにおいて、その存在を当然のように感じているものについては、私たちはついそのありがたさを忘れてしまいがちです。水道の蛇口をひねったら、いつでもきれいな水が出てくるのが当たり前、電灯のスイッチを入れたら明かりがつくのは当たり前、お金を出しさえすれば簡単に食料が入手できて当たり前・・・しかし、そうした便利で快適な生活の背後には、必ず支えてくれている人たちの存在があります。

今、私たちがライフラインを安定的に利用できるのは、日夜それを維持する仕事に携わっている人たちのおかげでしょう。平素はあまり意識していなくても、一人一人がそれぞれの持ち場で自分の仕事を成し遂げ、生活に必要な物品やサービスを提供し合うことによって、社会の機能が保たれているのです。

こうした状況について「サービスの利用に際してはお金を支払っているはずだし、相手はそれで報酬を得ているのだから、特別に恩義を感じる必要はない」という考え方もあるでしょう。しかし、事実としての「お互いに支え合っている」という関係をどのように受け止めるかによって、私たちの生き方には大きな違いが生じるのではないのでしょうか。仮に「おかげさまで、ありがたい」などとはほんの少しも思わないとすれば、世の中を支えている人たちの努力を正當に評価していないことになるでしょう。

私たちが人として生きていく上で、感謝の心ほど大切なものはありません。それはお互いを尊重しあうことにつながるからです。

(冊子ニューモラル12月号より)

年末、そして年始が近づいてきました。疎遠になってしまっていた方と、冒頭にあるような挨拶を交わす機会があると思います。大病や事故に遭ったりすると、何事もなく平穩に過ごせることのありがたさを感じます。この機会に今年1年無事に過ごせたことをお互いに感謝して新年を迎えましょう。

ホームページ更新しました	来週の予定				
	月	日	曜	時間	行事等
○スーパーふれあいタイムに向けて	12	12	月	5 限 14:55	朝礼 6年職業講話(保育園長) 一斉下校
○保健だより 12月号		13	火	5 限 15:45	1・2年校外学習 6年職業講話(動物病院長) 一斉下校
○2学期個人懇談		14	水	5・6 限 14:55 15:45	スクールガード連絡会 6年十四山中学校入学説明会 1～2年スクールガード下校 4～6年下校
○朝礼・表彰・人権集会		15	木	1 限 14:55 15:45	P T A 登校指導 新入児体験入学(1年生対応) 1～3年下校、4～6年クラブ 4～6年下校
○学年だより 12月号		16	金	1 限 14:55 15:45	スーパーふれあいタイム 1～3年下校 4～6年下校

十東小キャラクター
東武将くん



子どもたちの活動の様子は、本校ホームページをご覧ください。

十四山東部小学校

で

検索

または

